



(c)Thelma/Louise

UNHCR難民映画祭大学パートナーズ 映画上映会 氷上で壊す境界線

—映画『ナイス・ピープル』を通じて学ぶ難民の社会共生の可能性—

2018年1月13日(土)
13:00~17:00
(開場12:30)

池袋キャンパス
11号館地下1階
MBO1教室

参加無料・要申込



申し込みは
こちらから

学生団体SOAR
によるワークショップ
「いのちの持ち物けんさ」
も実施

映画「ナイス・ピープル」

アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭観客賞Jミニート作品

内戦を逃れ、スウェーデンの田舎町ボーレンゲで暮らすソマリア難民の若者たち。住民との交流が希薄な中、ある地元の事業家が「バンディ」という伝統的な氷上スポーツのソマリア人チームの結成を思い付く。8ヶ月後に迫る世界選手権を目指して特訓が始まる中、若者たちはやがて祖国での過酷な体験や異国での孤独感について胸の内を明かす。果たして彼らはバンディを通じてスウェーデンに居場所を見つけることができるのか—。

パネルディスカッション

「社会共生の例から見る日本にいる難民の現状」



日本の難民問題における第一人者によるパネルディスカッション。
法律、国際機関による難民保護、そして自立支援等の観点から見える在日難民の現状を、学生モデレーターが素朴な疑問で問いかける。

渡邊 彰悟氏
白幡 香純氏
秋元 隆氏
渡部 清花氏

全国難民弁護団連絡会議事務局長
国連難民高等弁務官駐日事務所法務担当
難民自立支援ネットワーク (REN) 理事
東京大学院生・WELgee代表